

平成 24 年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動総括

1. 展開の趣旨

近年、社会が豊かで便利になる中で、子どもたちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している。

このため、国立大雪青少年交流の家では、地元美瑛町の各機関・団体はもとより、北海道全域に子どもたちの体験活動の普及拡大を図るために、北海道青少年教育施設協議会（加盟 17 施設）や道内市町村、学校、青少年団体、企業、NPO 等と連携して、子どもたちの健やかな成長にとって体験がいかに大切であるかを広く家庭や社会に伝え、社会全体で体験活動を推進する機運を高める。

2. 「体験の風をおこそう」普及推進運動「1010」北海道展開計画

普及推進期間→平成 24 年 9 月～11 月

【平成 24 年度の重点】

(1) 北海道青少年教育施設協議会加盟 17 施設の期間中啓発及び事業実施
事業統一日ののぼり旗設置

(2) 道内各地の研修会や会議等を利用した「体験の風」の普及説明(25 会場)

(3) 下山プロジェクトをとおした体験活動の奨励

下山プロジェクト(※)

大雪青少年交流の家の職員の持つ様々なスキルやノウハウを地元はもとより、道内の教育に役立ててもらうための支援協力活動(H24 新規)

(4) 北海道 179 市町村すべてに「体験の風」のぼり旗設置依頼

(5) 重点地域を指定した「体験活動」の支援協力(14 市町村 16 事業)

(6) 「体験の風をおこそう」へのエントリー【目標 100 事業以上】

▶ H23: 11 事業 → H24: 255 事業(北海道協議会 228 事業)

(7) 遊びリンピックへのエントリー【目標 40 事業以上】

▶ H23: 9 事業 → H24: 124 事業(北海道協議会 101 事業)

(8) 書籍「体験の風をおこそう」PR 北海道教育委員会・市町村教育委員会 80 冊

3. 展開組織

(1) 北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会の設置 → 設置要項

(2) 国立大雪青少年交流の家「体験の風ワーキンググループ」の設置 → 設置要項

4. 展開スケジュール

(1) 6 月 20 日 所内連絡会説明(共通理解・共通認識)

(2) 6 月 25 日 体験の風ワーキンググループメンバー決定・設置要項策定

(3) 6 月 25 日 北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会会則制定

(4) 7 月～11 月 普及推進運動北海道展開

(5) 12 月～1 月 成果のとりまとめ(評価改善→H25 に向けて)

5. 今後の取組

▶ エントリー市町村(遊び含む)の一覧作成→次年度 4 月からスムーズに着手

▶ 冬期間の普及推進活動(利用促進 PR 兼)

「体験の風をおこそう」運動

自然体験塾2012

体験の風をおこそう

愛別町

場所 きのこの里愛別オートキャンプ場

実施日 平成24年8月8日～10日

〈愛別町・鷹栖町・士幌町合同リーダー研修〉



牛乳パックを使ってホットドック!!



自然に目を向けると再発見がいっぱい

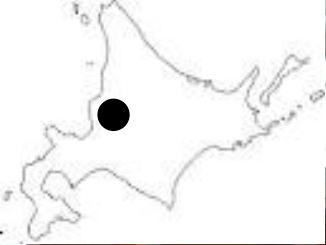


3町の仲間と交流を深め「ハイ 体験!!」



危険予知トレーニング「不安だな～」





月形チャレンジニュースポーツ



スポーツ吹き矢の説明を聞いて



初めてのスポーツ吹き矢に挑戦



体育協会が初めて企画したスポーツ交流



体験の風をおこそう

月形町

場所 月形町総合体育館アリーナ
実施日 平成24年 9月 8日(土曜日)

3世代がふれあい楽しみました



五色綱引き、チームワークで勝利目前



おめでとう！2個目のメダルゲット



根室管内子ども子ども会リーダー研修

運命ゲーム、当たってくれ!!



遊びりんピック説明

体験の風をおこそう 羅臼町

場所 羅臼町民体育館
実施日 平成24年9月17日



体験の風をおこそう

鷹栖町

場 所 鷹栖町北斗地区住民センター

実施日 平成24年 9月17日～21日

地域のおじさんおばさん ありがとう



どう？ なかなかの包丁さばきでしょう



地元スーパーで朝食の食材購入中



わくわくチャレンジ合宿

予算の中で足りるかな～